

# 愛知県議会議員

— 自民党1期 —

## 神谷 和利



「八〇二〇運動」とは厚労省と日本歯科医師会が推奨する「八〇歳になっても自分の歯を二〇本以上保とう」という運動です。平成元年に愛知県で始まり全国に拡がりました。この発祥は豊田市で

昭和36年1月2日生まれ。豊田市柿本町3-34。愛知県議会県民環境委員会副委員長。同行財政改革・地方創生調査特別委員会委員。自民党愛知県第11選挙区副支部長。元豊田市議会議員。愛知県森林協会副会長。豊田市少林寺拳法協会会長。ボーイスカウト豊田地区副協議会長。

# オーラルフレイル対策

行われた調査と言われています。平成25年に「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例」が制定され、同時に名古屋市中でも同様の条例が制定。翌年には豊田市でも「歯と口の健康づくり推進条例」が制定され、同時に名古屋市中でも同様の条例が制定。翌年には豊田市でも「歯と口の健康づくり推進条例」が制定され、同時に名古屋市中でも同様の条例が制定。

「口の機能低下を防ぐ条例改正へ」

近年、この歯科口腔保健を取り巻く状況が変化しており、その一つが「オーラルフレイル」という概念です。「フレイル」という聞きなれない言葉は、加齢で「健康」から「要介護状態」に移行する

中間の心身機能が低下した状態（虚弱）を表します。この状態までならば、しっかり対策することで元の健康状態に戻れると言われています。「オーラルフレイル」とは「フレイル」になる手前の口腔機能の低下をいいます。この状態の人は介護認定や死亡のリスクが他の状態の人の約二倍多いという結果がでています。

「八〇二〇運動」発祥の愛知県でも改正に向けて自民党県議団で議論が重ねられており、本年度内の改正を目指しています。

落とさないよう、口の機能低下、食べる機能の障害、更には心身の機能低下まで繋がる「負の連鎖」に警鐘を鳴らした概念が「オーラルフレイル」です。令和になり新規制定された自治体の条例には、既存の条例に「オーラルフレイル」という文言を組み込む動きも出ており、名古屋は既に令和二年に改正しています。